



地元出身隊員を激励

自衛隊群馬地方協力本部 田畑 亜沙美

十一月六日（水）、高崎市自衛隊家族会箕郷町分会（会長 高山 千代吉 氏）は、今年の春に入隊した西山 康晴二等陸士（東部方面管制気象隊第五派遣隊（相馬原駐屯地）を激励した。

西山二士は、昨年の自衛隊採用年齢引き上げに伴い二十八歳で入隊した旧箕郷町出身の隊員であるが、地元出身隊員が近隣駐屯地で勤務していることを知った高山会長が、是非本人を激励したいとのたつての意向で今回の訪問が実現した。

併せて行われた部隊研修では、第五派遣隊長である、長義和 一等陸尉から管制気象隊の職務概要や西山二士が行う離発着航空機の運航管理等の業務について説明を受けた。

高山会長は、西山二士に激励品を贈呈し「今後の活躍を期待している」と声を掛けられ、隊員を激励された。これに対して西山二士は、「部隊に来て約三ヶ月が経ちました。早く仕事を覚えて部隊に貢献できるよう頑張ります。」と抱負を述べ、職務への意欲を新たにしました。

